

真岡市議会議員

お世話になります！

# 中村かずひこ通信

【発行元】中村かずひこと未来をつくる会 〒321-4362 真岡市熊倉町3423-4  
Tel. 0285-82-6285 e-mail info@nakamurakazuhiko.com  
ホームページ <https://www.nakamurakazuhiko.com>



vol.87



中村かずひこ  
情報発信中!!



ホームページ



公式ライン



Facebook



Instagram

ご意見・ご要望は  
公式ラインからでも  
お気軽に



議会での一般質問等の  
様子がインターネットの  
録画配信でいつでも  
ご覧いただけます。

インターネット録画配信



## ごあいさつ ~日本再生の発信を真岡市から~

日本を代表する哲学者で、国民教育の父とも呼ばれる森信三氏は、生前に『日本は2025年に立ち上がるであろう。しかし、その再起再生の原動力になるのは、二宮尊徳の教えに基づくほかない』と語っていたそうです。

報徳仕法の発祥の地である真岡市に住む者として、何とも心躍る思いがいたします。そして今年、日本が再生する時と森信三氏が語った2025年を迎えました。

この真岡市が、日本再生に向けての発信地になっていければ——。少し大げさな言い方も知れませんが、そのくらいの熱い思いを持って、この2025年を駆け抜けていきたいと考えております。

皆様の変わらぬご指導、ご鞭撻をよろしくお願いたします。

真岡市議会議員 **中村 和彦**



哲学者 森信三氏  
(1896年~1992年)

このような取り組みが始まっています

## 『オフィス進出等促進補助金』を新設!

本社機能などの誘致へ一歩前進

真岡市では、令和6年4月から『オフィス進出等促進補助金』が新たに設けられました。これまで中村は『企業の本社・研究機関の移転促進』を訴えてきましたが、その実現に向けた一歩を踏み出すことになりました。

- 補助対象者
- ①真岡市内に本社を新たに開設または移転する会社
  - ②真岡市内に初めてサテライトオフィスや支社等の事務所を開設する会社

### オフィス進出等促進補助金

開設・移転時に要した経費の一部補助(補助率1/2)  
 ・本社開設・移転 **200万円(上限)**  
 ・サテライトオフィス・支社開設 **100万円(上限)**

### 雇用補助

雇用補助(市民雇用、事業開始の日において、住民登録している者)  
 1人あたり25万円 **10人分 250万円(上限)**

※実現に向けてご尽力いただいた関係各位に心から感謝申し上げます。

# 12月定例議会報告 12/2▶12/18

12月定例議会が、12月2日(月)から12月18日(水)の17日間にわたって行われました。

今回、執行部から提出された議案は『真岡井頭温泉の設置及び管理条例の一部改正』や『指定管理者の指定』(もめん茶屋、市民会館、市公民館、青年女性会館)など計19件で、いずれも原案通り可決されました。

## 一般質問

議員による質疑・一般質問は、12月9日(月)、10日(火)の2日間行われ、中村は10日の3人目として登壇し、4件の課題について一般質問を行いました。

執行部は答弁の中で、

- ◆真岡市の合計特殊出生率が、国や県の平均値を大きく下回っている要因として『婚姻数の低下』(令和2年と4年を比較すると、国や県が約10%減少しているのに対して、真岡市は約20%減少)が挙げられること

- ◆空き店舗バンクの運営を、商工団体から市に移行するとともに、空き店舗や新規出店希望者などの情報をリアルタイムで共有するアプリを導入していくこと

などを明らかにしました。

(中面に関連記事)

### 中村が行った一般質問の内容

#### 1.人口減少時代における取り組みについて

- (1)真岡市の合計特殊出生率が、栃木県や全国の平均値を下回っていることについて
- (2)多子世帯に対する経済的な支援策について

#### 2.産業分野の諸課題について

- (1)空き店舗対策について
- (2)起業家や地元企業に対する経営支援について

#### 3.NHK大河ドラマの誘致活動について

- (1)二宮尊徳翁を題材としたNHK大河ドラマの誘致活動について

#### 4.教育分野の諸課題について

- (1)学校現場における教員不足について
- (2)学校図書館における専任司書の増員について
- (3)中学生の広島平和記念式典への派遣について





# 中村かずびと議会レポート

## 12月定例議会 一般質問



質問のやりとりが、インターネットの動画でご覧いただけるようになりました。

### 【答弁者】

- 石坂 真一 市長
- 山中 孝雄 教育長
- 青柳 正子 健康福祉部長
- 長谷川佳孝 産業部長
- 古澤 博之 教育次長

### 1.人口減少時代における対応について



**質問** 真岡市が策定した『人口ビジョン』によれば、**2040年**の人口を**約7万3,000人**とすることを目標にしている。ただし、そのためには真岡市の**合計特殊出生率**を、令和17年に1.9程度、27年には2.07程度にまで上昇させる必要がある。しかし、実際の数字を見ると、**国や県の平均値を下回る**状況が続いている。その要因をどのように分析しているのか。また、**今後どのような少子化対策**を考えているのか。

**答弁** 真岡市の**合計特殊出生率**は、令和2年以降、国や県の平均値を下回り、**令和4年**は国が1.26、県が1.24に対して、**真岡市は1.11**となっている。その**要因の1つに婚姻数の低下**があると考えられる。**平成30年と令和2年**の婚姻数を比べると、国や県では約10%の減少であるのに対して、**真岡市は約20%減少**している。現在、真岡市で取り組んでいる『**オンリーワン事業**』を、今後は**さらに拡充**させたい。

### 要望

先頃、**栃木県は賃金の男女格差が全国ワーストワン**であると発表された。言い換えれば、若い女性が定住しにくく、少子化が進みやすい環境にある。**兵庫県豊岡市**では『**若者回復率**』というものを独自に調査し、**女性が男性の半分程度しか戻っていない**ことが明らかとなり、定住促進策全般を見直したとのことだが、そうした**正確な実態把握**は、**真岡市でも必要**であるということ是指摘しておきたい。

**質問** 人々の**恋愛や結婚**に対する**価値観が多様化**する中、それでも少子化対策を進めていくのであれば、既に子どもが多くなる**多子世帯**に、もう1人子どもを産もうというきっかけとなる**経済的支援**を真剣に考えるべきではないだろうか。子どもが3人以上産まれたら**高額の出産祝い金**を支給する自治体も見受けられる。また、**税制面での優遇**も1つの方法である。そうした取り組みを真岡市でも検討してはどうか。

**答弁** 多子世帯への**経済的支援**については、国の制度である子ども1人に5万円を支給する『**子育て応援金**』に加えて、市独自に第1子、第2子に2万円、第3子以降に3万円を支給する『**赤ちゃん誕生祝金**』や、多胎妊婦の**健康診査**に対する**助成回数**を**上乘せする**など充実を図ってきた。また、国の制度改正に合わせて、**児童手当の支給対象年齢**を**高校生世代まで拡充**し、**第3子以降の支給額**を**一律3万円**に増額している。

**再質問** これまで真岡市は、**少子化対策**や**子育て支援策**において一定の評価を受けてきたが、**状況の改善**までには**至っていない**。これまでとは**違った視点**からの取り組みも考えて然るべきではないか。

**答弁** **出生率を上げる**ためには、**経済的な支援**も重要だとは思うが、そのほかにも**若者の定住促進策**など、**様々な取り組みが必要**であると考えられる。今後、**県の動向**などを見ながら考えていきたい。

### 要望

**真岡市の出生数**を見ると、平成26年まで700人台を維持していたのが、最新の令和5年は439人ということで、この**10年間で300人程減少**している。市民アンケートの結果などによれば、子どもを産み、育てることを躊躇する理由として、**最もネック**となっているのが**経済的な問題**なのだから、**そこに光を当て**るべきではないかと考える。

### 2.産業分野の諸課題について



**質問** いよいよ1月25日に**複合交流拠点施設『monaca』**がオープンする。この施設は、**中心市街地**のにぎわいを創出することが期待されているが、現在の中心市街地を見渡すと、**多くの空き店舗が存在**している。『monaca』のオープンだけで回遊性が向上し、活性化に結びつくとは思えない。これまでの**空き店舗対策の進捗状況**と**今後の取り組み**はどのようになっていくのか。

**答弁** 令和6年9月に**台町、田町、荒町、久下田駅周辺**において実態調査を行い、**144件の空き店舗を確認**した。このうち所有者に賃貸の意向があった10件を、**空き店舗バンク**に掲載するよう準備を進めている。今後、**空き店舗バンク**の運営を、**商工団体から市に移行**するとともに、**空き店舗や新規出店希望者**などの情報をリアルタイムで共有する**アプリ**を導入していきたい。

### 再質問

**中心市街地再生**は、石坂市政においてかなり**重要度の高い**政策である。そのためにも、**空き店舗対策**は**不可欠**の課題であると言える。ぜひ、市長の現時点での**意気込み**を聞きたい。

**答弁** **真岡市**は郊外に新しい店舗が立ち並び、**商店街**というものが**薄れてしまっている**。そうした中で、**中心市街地の活性化**を進めていくには、行政だけでなく**経済団体をはじめとする民間の力が必要**なので、**しっかりと連携**を図っていきたい。

**質問** 真岡市内で活躍する**起業家**に話を聞く機会があったが、異口同音に**地元で活動拠点を探**すことに**苦慮**し、**市外での起業**を進められた経験があるという。これまでも、真岡市出身の起業家が、**やむなく市外へ流出**した事例が数多く見受けられた。**自前の相談機能**を持たないと、**地元への定着**を促すことはなかなか難しいと思われる。**起業家や地元企業への経営指導**のために『**ご当地ビズ**』を開設してはどうか。

**答弁** 現在、**起業家や中小企業**に対しては、**商工会議所**や**商工会**が最も身近な相談窓口として対応しているほか、**宇都宮市ゆいの杜**に『**よろず支援拠点**』も設置されている。この『**よろず支援拠点**』は、**様々な分野の専門家**を37名そろえており、**ワンストップで相談**を受けられるのに加えて、**真岡商工会議所**で**月2回の出張相談**も行っている。こうしたことから『**ご当地ビズ**』を開設することは**考えていない**。

### 再質問

各都道府県にある『**よろず支援拠点**』の中でも、**栃木県は相談件数が多い**。また、**経営状態**がかなり悪化してから相談に来る事業者が多く、**もっと早い段階で活用**していれば、**より良い解決策**も見出せたはずという事例も往々にしてあるとのことである。『**よろず支援拠点**』を**有効に活用**するためにも、**自前の相談機能が必要**ではないのか。

**答弁** 身近な**経営相談**の場として**商工会議所**や**商工会**があり、年間**約4,000件**の相談を受け付けており、相談内容によっては『**よろず支援拠点**』につないでいる。まずは、**そちらを有効に活用**してほしいと思う。

### 再質問

既存の相談機能だけで対応した結果、**起業家**などが**市外へ流出**する事態が起きているが、そうしたことは**やむを得ないこと**と捉えているのか。

**答弁** 真岡市内で**起業**してもらうことが理想だが、**空き店舗**について**リアルタイムで情報共有**できれば、**従来よりも活動拠点**に関する相談に応じていけるものと考えている。

### 要望

地元の企業を育てるということは、**雇用の創出**、ひいては**真岡市への定住促進**にもつながるものなので、決して**軽視**できない。しかし、現状では**起業家の市外への流出**、そして『**よろず支援拠点**』への**相談のタイミングが遅い**ため、**十分な支援**が受けられないという事例が見られる。その点は**改善**を図るべきであると考えられる。

### 3.NHK大河ドラマの誘致活動について



**質問** 日本を代表する哲学者の森信三氏は生前『日本は2025年に立ち上がるであろう。しかし、その再起再生の原動力になるのは、二宮尊徳の教えに基づくほかない』と語っていた。  
2025年を機に、二宮尊徳翁を題材とした大河ドラマの誘致活動や真岡市民の意識高揚に向けた取り組みをより積極的に展開してはどうか。

**再質問** 『全国報徳研究市町村協議会』が行っている現在の誘致活動は、NHKへの要望書の提出のみとのことであるが、この活動だけで十分という認識なのか。

**再質問** 大河ドラマの誘致に向けて、千葉県香取市、茨城県常総市、そして岡山県高梁市などでは、街中にポスターやのぼりを掲げたりNHKに出向いて直談判をしたりする取り組みを続けている。こうした活動は、ドラマの誘致だけでなく、市民に郷土の偉人に関心を持ってもらうことにも重きを置いたものである。真岡市でも必要だと思うが。

**要望** 日本を代表する哲学者が生前に、2025年に日本は二宮尊徳翁の教えによって再生されるという話をしている、それに着目した特集を組む雑誌も出てきている。その一方で、報徳仕法の発祥の地である真岡市が、そうした流れに乗り切れていないのは非常にもったいない。ぜひ、真岡市民のシビックプライドの醸成に資する取り組みを展開していただきたい。

**答弁** 真岡市は、二宮尊徳翁ゆかりの17市町村で組織する『全国報徳研究市町村協議会』に加盟しており、その中で掛川市、小田原市、日光市、南相馬市、真岡市の5市で組織された『二宮尊徳NHK大河ドラマ化推進委員会』を中心に誘致活動を進めている。令和6年は、真岡市からNHK宇都宮放送局に要望書を提出した。今後も、二宮尊徳翁を描く大河ドラマなどの制作を、他の自治体と連携して要望していく。

**答弁** 『全国報徳研究市町村協議会』では、『二宮尊徳NHK大河ドラマ化推進委員会』を中心に連携して誘致を進めていくこととなっており、現在の活動で十分であると考えている。

**答弁** 小学4年生が社会科の副読本『わたしたちの真岡市』で二宮尊徳翁について学んでいる。また、桜町陣屋跡で開催されている米づくりに、市内外の小学生や真岡北陵高校の生徒、JAはが野などが参加し、二宮尊徳翁の報徳仕法を理解する取り組みが行われているので、シビックプライドの醸成は図られているものと考えている。

### 4.教育分野の諸課題について



**質問** 先頃、真岡地区PTA連絡会と真岡地区議員団による懇話会が行われ、学校現場での教員不足が課題の1つとして取り上げられた。ある学校では、クラス担任が4名も不在だったという。今後どのように対応していくのか。市採用の非常勤講師の増員や、『チーム担任制』のような教員の負担軽減を図る取り組みなどは検討に値するものと考えているか。

**再質問** 教員の『働き方改革』は、内容によっては子ども達の教育活動にも影響を及ぼすものであるが、真岡市ではこういった取り組みに力点が置かれているのか。

**要望** 今、こども家庭庁では保育士の人材確保に向けて、資格を保有しつつもその職に就いていない『潜在保育士』の発掘と活用に力を入れている。『潜在保育士』が全国に約100万人いるのに対して、教員免許を保有しつつも教職に就いていない『ペーパーティーチャー』は約400万人もいるという。そうした人材の活用はもっと考えてもいいのではないかと思う。

**質問** 現在、真岡市では小学校14校に4名、中学校9校に2名、学校図書館の専任司書を配置させている。しかし、専任司書を全ての小中学校に配置している市町と比べて、真岡市は図書の出借冊数で1/2~1/3にとどまっている。これまで教育委員会では『十分な効果が出ている』とのことだったが、専任司書の増員を進めるべきではないのか。

**再質問** 子ども達の読書量については、様々な団体から統計が出ている。それを見ると、真岡市の子どもの読書量は平均値よりも低い。したがって、何を根拠に十分な効果と考えているのか疑問に感じるが。

**再質問** 文部科学省では学校図書館のあるべき姿として『いつでも開いている図書館、必ず誰かいる図書館』との方針を掲げている。しかし、専任司書が週2回程度しか巡回できていない真岡市の学校図書館はこの『あるべき姿』には程遠い。改善すべきではないか。

**要望** 読書環境の充実は、教育分野におけるone of themの課題ではない。学力向上はもとより、部活動をする際の集中力、いじめや不登校と向き合う上でのコミュニケーション力、さらにはアクティブ・ラーニングなど、あらゆる教育課題の根幹をなすものである。新たな図書館を整備する自治体には、それにふさわしい読書教育があって然るべきと考える。

**質問** 令和7年に戦後80年の節目を迎える。栃木県内では7市と3町が中学生を広島平和記念式典に派遣しているが、真岡市も実施をすべきではないか。現在、真岡市では広島の平和祈念館が実施している『被爆体験伝承者等派遣事業』を活用し、希望する全中学校が聴く機会を設けているというが、実施しているのは例年1校のみである。教育効果としては疑問に感じるが。

**再質問** わが国の歴史教育では近現代史が深掘りされていないことは以前から指摘されてきた。そうした中であって『被爆体験伝承者等派遣事業』を実施しているのが、真岡市内では例年1校のみ。これで十分と考えているのか。

**再質問** 代表生徒の派遣が教育効果として薄いというのであれば、真岡市が長年続けてきた国際交流事業も教育効果が薄いのか、その点が疑問として残るが。

**要望** 他市町では取り組まれているものが、真岡の子ども達は経験できない。そして、その替わりの事業も実施しているのは例年1校のみで、6つの中学校は未実施である。平和教育は希望する学校だけが行えばいいというものではない。令和6年は戦後80年の節目を迎える。この機会に平和教育のあり方をもう一度見直していただきたい。

**答弁** 真岡市の小中学校でも教員の欠員が生じている学校があり、他の教職員の負担が増すことにより、働き方改革の面での課題となっている。欠員補充については県に要望しているところであり、市採用の非常勤講師の増員は考えていない。『チーム担任制』については、教員の責任の所在が曖昧になるなどの課題があるので、今後は先事例を参考に検討していく。

**答弁** 管理面では事務処理のDX化を、カリキュラムマネジメントでは重複していた授業内容を削減するなど学習内容の精選を図っている。加えて学校行事の簡素化も進めている。

**答弁** 専任司書は、図書館の環境整備や貸出業務のほか、教員と連携して調べ学習の資料や、授業のための学習教材となる図書の提供を行っており、学校現場において、専門的な知識からの効果的なサポートに努めている。現時点で、学校現場において十分な効果を上げているので、専任司書の増員については考えていない。

**答弁** 子ども1人あたりの図書貸出冊数が、この数年間連続して増加傾向にあることから、十分な効果が出ていると考えている。

**答弁** 学校図書館に専任司書がいなくても、教員や児童・生徒によって対応できている。

**答弁** 現在、各学校における平和教育は、人権教育、環境教育、国際教育などを視野に入れて、社会科や国語科、道徳や特別活動などの教科と関連させ、全ての学校で行っている。真岡市では、これらの教育活動に加えて広島平和祈念館の事業を活用し、被爆体験伝承者を希望する中学校に派遣し、原爆の恐ろしさや戦争の悲惨さ、平和の大切さを、子ども達が学ぶ機会を設けているので、広島平和記念式典への派遣は考えていない。

**答弁** 代表生徒を広島平和記念式典に派遣するよりも『被爆体験伝承者等派遣事業』の方が有効であると考えている。

**答弁** 国際交流事業の場合、生徒を派遣した翌年に受け入れを行っている。受け入れの際には各学級で交流事業が行われるため、全ての生徒が体験できる。



報告しまし  
広報広聴委員会

# 視察研修報告

10月16日(水)、17日(木)の2日間、真岡市議会の『広報広聴委員会』では視察研修を行い、神奈川県川崎市と千葉県白井市を訪問しました。

今回は、①議会のプロモーションビデオ作成などについて

②議会における女性活躍の推進について がテーマでした。

※この視察は『担い手対策プロジェクトチーム』と合同で行われました。

## 視察研修 川崎市

川崎市議会では、市民に親しみを持ってもらうため、川崎市にゆかりのある方々が登場する『コンセプトムービー』などの動画を作成している。

また、子ども達をターゲットにした活動も充実しており、市議会のホームページに『キッズページ』を作成したほか、子ども議場見学、中学3年生を対象にしたデジタル副読本の作成、高校生達との意見交換などにも取り組んでいる。

真岡市議会でも、イメージビデオと最新の議会情報、傍聴案内などを組み合わせた動画作成などは検討の余地があるように感じた。



## 視察研修 白井市

白井市議会は、定数18名に対して、半数以上の10名が女性議員ということで全国的に注目を集めている。

市内にある千葉ニュータウンから立候補する女性が目立ち、PTA活動などがきっかけとなって市政に関心を持つ人達が多いとのこと。ちなみに、定数4名オーバーで行われた直近の市議選で、落選したのは全て男性候補だったという。

真岡市議会は、女性議員の比率が14.3%。全国平均と比べても低い状況にある。女性の方々に議会をより身近に感じてもらう取り組みが必要である。



今回の視察では、右記の金額が公費でまかなわれました。

総額

43,827円

出所

議会費のうち旅費など

内訳

交通費、宿泊費、議員日当

## コラム ゼーむあつが

『日本は2025年に立ち上がるであろう。しかし、その再起再生の原動力になるのは、二宮尊徳の教えに基づくほかない』

今回の冒頭のあいさつでも触れたが、哲学者の森信三氏は、生前にそのようなことを述べていたという。

失われた30年——。バブル経済崩壊後、低迷を続けてきた日本はそう言われてきた。それが、2025年には再び立ち上がる、しかもその原動力となるのは二宮尊徳翁の教えに基づくというのだから、報徳仕法発祥の地である真岡市に住んでいる私達としては何とも心踊る思いである。

二宮尊徳翁が活躍した江戸時代の後期から幕末にかけて、日本の人口は減少しており低成長の状態が続いていた。さらに、疫病や大きな自然災害も度重なるなど、今日の状況と極めて似ている。そうした中、尊徳翁が報徳仕法によって進めた農村復興は、まさに『幕末期の地方創生』と言えるだろう。

では、私達真岡市民は、その『二宮尊徳の教え』を、どこまで理解しているだろうか。次世代を担う若い人達に、どれほどのものを伝えているだろうか。

無論、尊徳翁の功績を顕彰するため、長年にわたって続けられてきた取り組みもある。『史跡桜町陣屋跡の保存と活用を考える会』の皆さんが中心となって、桜町陣屋周辺の水田で子ども達を対象に行っている米づくり体験事業などはその代表格と言える。

しかし、現在の活動だけに留めるべきとも思えない。もっと、裾野を広げるための『起爆剤』となり得るものが不可欠だと感じるのである。そうした思いもあって、私はこれまで、二宮尊徳翁を題材としたNHK大河ドラマの誘致活動を、より積極的に推進すべきであるということ度を訴えてきた。

### 『起爆剤』は私達の周辺に

〜日本再生の2025年を迎えて〜

現在行われている大河ドラマの誘致活動と言えば、真岡市をはじめ尊徳翁にゆかりのある全国17の自治体が加盟している『全国報徳研究市町村協議会』が、NHKに要望書を提出することだけにとどまっているのが実情だ。

もしかすると、要望書の提出を今後も続けていけば、いずれ大河ドラマの誘致を果たせるかも知れない。しかし、この誘致活動において最も大切なのは『結果』よりもむしろ『プロセス』のような気がする。大河ドラマの誘致は、あくまでも『ツール』なのであって『ゴール』ではない。

他県の自治体の取り組みを見ると、例えば千葉県香取市では、伊能忠敬を題材とした大河ドラマの誘致に向けて、街中にポスターやのぼりを掲げる活動を続けている。また、茨城県常総市では、千姫を題材とした大河ドラマの誘致に向けて、関連する他の自治体にも働きかけて、市長達がNHK本社にまで出向いて直談判を続けている。昨年、会派の視察研修で訪れた岡山県高梁市でも、山田方谷の大河ドラマ誘致に向けて、市の中心部に整備された複合交流拠点施設の入口に特設ブースを設けていた。こうした活動は、大河ドラマの誘致ということはもちろんだが、それ以上に郷土の偉人の功績を地元の人達に知ってもらうことに重きを置いたものではないだろうか。

日本を代表する哲学者が生前に、二宮尊徳翁の教えによって日本が再生すると語っていた2025年がいよいよ幕を開けた。これを一つの契機として、NHK大河ドラマの誘致はもとより、報徳仕法発祥の地に住む真岡市民の意識高揚につながる取り組みを展開してはどうか。

真岡市が、そして社会全体が盛り上がるための『起爆剤』は、私達の身の回りのそこかしこに隠れている。

## 中村かずひの活動日誌

### 10月

- 1日 市政功労者表彰・市制施行70周年感謝状贈呈式  
広報もおか音訳作業  
（『ひばりの会』の活動として）
- 3日 真岡市戦没者追悼式
- 4日 海外友好都市歓迎式・シンポジウム・歓迎晩さん会
- 5日 真岡市市制施行70周年記念式典
- 6日 熊倉4区防災訓練
- 7日 あいさつボランティア
- 11日 広報広聴委員会
- 13日 真岡井頭マラソン
- 16~17日 広報広聴委員会視察研修  
（神奈川県川崎市、千葉県白井市）
- 18日 真岡工業団地安全衛生管理者研究会  
創立50周年記念祝賀会
- 19日 大学生インターン指導日
- 21日 議員協議会
- 22~23日 清溪セミナー（於：東京都・日本青年館）
- 24日 総合計画及びまち・ひと・しごと創生  
総合戦略推進市民会議
- 27日 真岡高校OB吹奏楽団定期演奏会
- 28日 あいさつボランティア  
大学生インターン指導日
- 29日 広報広聴委員会座談会
- 31~11月1日 全国若手市議会議員の会OB会  
宇都宮・真岡研修対応

### 11月

- 3日 真岡地区公民館まつり
- 4日 白鷺大学『白鷺祭』
- 6日 芳賀郡市町議会議員自治研修会
- 8日 栃木県遺族連合会青年部設立準備会（於：宇都宮市 護国神社）
- 9日 倉山満氏講演会（於：栃木市）
- 10日 大谷地区文化祭
- 11日 あいさつボランティア
- 12日 唐澤博物館を訪問（於：東京都練馬区）
- 13日 マニフェスト大賞『トップランナーに学ぶ 受賞事例研修会』
- 15日 筑西市明野地区高齢者学級
- 16日 大学生インターン指導日
- 17日 にちにちらんらんフェスティバル
- 18日 あいさつボランティア  
台町地区ミニデイホーム  
真岡地区PTA連絡会との意見交換会
- 19日 真岡市教育祭  
会派建議要望の回答書受け取り
- 24日 熊倉1区いきいきサロン  
臺若役員会
- 25日 あいさつボランティア  
会派代表者会議  
議会運営委員会  
議員協議会  
熊倉4区ふれあいサポーター会議
- 26日 一般質問の通告書を提出
- 28日 質疑・一般質問調整会議  
※その後、担当課によるヒアリング
- 30日 とちぎフリースクールフェスティバル  
栃木県遺族連合会青年部設立準備会  
（於：宇都宮市 護国神社）

### 12月

- 2日 あいさつボランティア／12月定例議会開会  
広報広聴委員会／会派代表者会議
- 5日 大学生インターン指導日  
全国若手市議会議員の会OB会役員会
- 7日 親子で楽しむ合同クリスマス会  
大学生インターン指導日
- 8日 市内一斉清掃／大谷公民館大掃除
- 9日 あいさつボランティア／質疑・一般質問1日目  
議会運営委員会
- 10日 議会運営委員会／議員協議会  
質疑・一般質問2日目  
※この日、3人目として登壇  
懲罰特別委員会
- 11日 大学生インターン指導日
- 12日 民生文教常任委員会を傍聴  
真岡市遺族連合会役員会  
大学生インターン指導日
- 13日 産業建設常任委員会を傍聴  
小池享二氏出版記念パーティー（於：宇都宮市）
- 14日 大学生インターン指導日
- 15日 小林地区ミニデイホーム／大学生インターン指導日
- 16日 あいさつボランティア  
総務常任委員会／懲罰特別委員会
- 17日 栃木県遺族連合会青年部発会式（於：宇都宮市 護国神社）
- 18日 12月定例議会閉会／広報広聴委員会  
大学生インターン指導日
- 20日 ひまわり園訪問（『ひばりの会』の活動として）
- 21日 地域おこし協力隊卒業報告会  
大学生インターン指導日
- 23日 あいさつボランティア